

平成 21 年 6 月 9 日現在

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2006～2008

課題番号：18720082

研究課題名（和文） Cobbett とロマン主義：新紙幣制度の受容に関する研究

研究課題名（英文） Cobbett and Romanticism: A Study on the Acceptance of the Paper Money System

研究代表者

江口 誠 (EGUCHI MAKOTO)

呉工業高等専門学校・一般科目・准教授

研究者番号：50332060

研究成果の概要：

19 世紀初頭のイギリス経済、とりわけ新たな紙幣制度に反対するジャーナリスト William Cobbett の唯物主義的な思想を整理した。同様に従来金の本位制度を支持し、紙幣制度に反対したイギリス・ロマン派詩人 P. B. Shelley の論旨を整理し、両者の主張に多くの類似点を認め、さらには想像力の効用に重きを置く Shelley の自己矛盾を明らかにした。また、当時のイギリスで広まっていた功利主義の考えとロマン派の想像力との関係についても明らかにした。

交付額

(金額単位：円)

|        | 直接経費      | 間接経費    | 合計        |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 2006年度 | 600,000   | 0       | 600,000   |
| 2007年度 | 700,000   | 0       | 700,000   |
| 2008年度 | 700,000   | 210,000 | 910,000   |
| 年度     |           |         |           |
| 年度     |           |         |           |
| 総計     | 2,000,000 | 210,000 | 2,210,000 |

研究分野：英文学、イギリス文化研究

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：英米文学、ロマン主義、イギリス文化研究、Cobbett、Shelley

## 1. 研究開始当初の背景

ロマン派と政治や文化という観点では、歴史主義という視点から国内外でも 1970 年代から様々な研究がなされている。Stephen Greenblatt 以降、ロマン派研究も新歴史主義の影響を少なからず受けてきており、その時代の文化を文学作品の単なる時代背景として捉えるのではなく、その時代の文化の一形態として文学作品を扱う研究姿勢が目立つ。

一例を挙げると、1998 年には James Chandler が *England in 1819* の中で数多くの作

家を取り上げ、ロマン派と歴史の関係をまとめ上げた。また、2000 年には Richard Cronin が *The Politics of Romantic Poetry* の中で、ロマン派の詩の政治性に言及しつつ、ロマン派の時代を 3 つの時期に分け、通時的な観点からそれぞれの時期に表象される優勢な言説を見出すことに成功している。

本研究では、18 世紀末から 19 世紀初頭に於ける様々な文献を、散文や韻文の区別なく取り扱い、新紙幣制度の受容という切り口から、「その時代に起こっていたイデオロギー

的な闘争を提示する」ことを目指している。その意味で、ロマン主義とイギリス経済との密接な関連が明らかにされるという意味において、本研究の果たす役割は大きいと考える。

## 2. 研究の目的

本研究においては、(1) William Cobbett と新紙幣制度に関する研究、(2) 18 世紀末から 19 世紀初頭にかけての新紙幣制度に関する文化研究、(3) 新紙幣制度とロマン主義に関する研究、という三項目を柱とする。

(1) William Cobbett は多産な政治ジャーナリストであり、その著作の内容も政治、経済、歴史など多岐にわたる。新紙幣制度に関する拙論では、中でも最もその問題に密接に関連し、Thomas Paine の *The Decline and the Fall of the English System of Finance* (1976) の影響を受けている、*Paper Against Gold* (1817) というパンフレットに注目した。その他にも、彼は、雑誌 *Weekly Political Register* や公開書簡に於いても、イギリス経済に言及しており、本研究では、前述の拙論で取り上げた内容よりもさらに一步踏み込み、19 世紀初頭イギリスにおける金融制度またはイギリス経済という視点から Cobbett の著作を再度検証し、彼の主張をまとめる作業を行う。

(2) イギリスの金融制度については、Cobbett 以外にも多くの政治家やジャーナリストなどが様々な主張を展開している。例えば、David Ricardo、Sir John Sinclair、Edward Tatham、David Hume、Thomas Paine などがその代表的な人物であり、本研究では、有名な Karl Marx の資本論を含め、18 世紀末から 19 世紀初頭に盛んに繰り広げられた紙幣制度や金融制度に関する議論についても詳細に調査する。

(3) 新紙幣制度の施行に関して激しい抵抗を見せたのは、同時代の作家や詩人であり、中でも、P. B. Shelley は、“A Philosophical View of Reform” というタイトルのエッセイ、そして、1819 年にマンチェスターで勃発したピータールー虐殺の直後に書き上げた、*The Mask of Anarchy* の中でこの制度に言及している。本研究では、同時代の様々な文学作品にも注目し、新紙幣制度とロマン主義との関連についても考察する。

## 3. 研究の方法

平成 18 年度は William Cobbett 関連の資料収集を主に行う。Cobbett は多産な政治ジャーナリストであり、彼の全ての著作を精読することはかなり困難であるため、資料収集の範囲をイギリス経済、とりわけ、新紙幣制度や金本位制度に関する資料に限定する。また、発行部数が極端に少ない貴重なパンフレットや公開書簡など、日本では入手や閲覧が不

可能な資料については、昨年のイギリスでの在外研究中でも頻繁に利用した、British Library または Cambridge 大学など、イギリスの図書館や資料館に直接赴いて資料収集を行い、平成 18 年度は、これから三年間の研究の土台を作ることに専念する。

研究としてまず取り組むべきは、*Paper Against Gold* など、新紙幣制度またはイギリス経済に触れた Cobbett の著作の確認と精読、そしてその制度に対する彼の主張の整理である。彼は 19 世紀初頭に活躍した高名な経済学者である David Ricardo や金に関してのパンフレットを数多く出版しており、それ以外にも、イギリス内の労働者層の愛読誌であった *Weekly Political Register* においても、幾度となくそれらの事項に言及している。よって、パンフレットやこの雑誌に展開されている彼の主張についても同様に整理を行う。そして、以上の研究で得られた Cobbett に関する研究成果を年度内に論文にまとめ発表する予定である。

また、上記の作業と並行して、Shelley などに代表される、関連する 19 世紀初頭のイギリス・ロマン派の作品を出来る限り多く精読し、同時代の詩人や作家らの個々の思想の特徴を見だし、イギリス経済に関する様々な主張や概念についても、Cobbett の場合と同様に整理を始める。

平成 19 年度は、前年度から進めている研究方法、つまり、経済に関する Cobbett の反政府的な主張や思想を検証することに専念する。また、資料収集の範囲を上記の研究目的の項目で挙げた当時の政治家、ジャーナリスト、政治活動家などまで広げ、同時代の様々な言説の整理を行う。そして、前年度同様、平成 19 年度も、ここで得られた研究成果を論文にまとめて発表する予定である。

平成 20 年度は、前年度までの研究で得られた成果をもとに、特にロマン派の作品に注目する。ただし、経済という観点からの文化や文学に関する先行研究に乏しいという事実もあり、本研究の研究成果を後盾するような論文が用意できない可能性も十分にあり得る。よって、本研究では、そのような場合をあらかじめ想定し、最終年度では、学会発表の場に於いてこの研究成果の是非を問うという手法を取る。そして、そこで得られた助言、指摘された問題点、または新たに不備等を持ち帰り、その後、推敲を重ねながら三年間の研究のまとめとして、専門誌に論文を投稿し、研究成果の発表を目指す予定である。

## 4. 研究成果

平成 18 年度は William Cobbett 関連の資料収集を主に行った。Cobbett は多産な政治ジャーナリストであり、彼の全ての著作を精読す

ることはかなり困難であるため、資料収集の範囲をイギリス経済、とりわけ、新紙幣制度や金本位制度に関する資料に限定した。発行部数が極端に少ない貴重なパンフレットや法案の議事録等、日本では入手や閲覧が不可能な資料については British Library に直接赴いて資料収集を行った。

研究内容としては、*Paper Against Gold* など、新紙幣制度またはイギリス経済に触れた Cobbett の著作の確認と精読、そしてその制度に対する彼の主張の整理を行った。彼は 19 世紀初頭に活躍した高名な経済学者である David Ricardo や金に関してのパンフレットを数多く出版しており、それ以外にも、イギリス内の労働者層の愛読誌であった *Weekly Political Register* においても、幾度となくそれらの事項に言及している。よって、パンフレットやこの雑誌に展開されている彼の主張についても同様に整理を行った。

平成 19 年度は、昨年に引き続き William Cobbett 関連の資料収集を行った。特に、新紙幣制度や金本位制度に関する資料の中でも日本では入手不可能な当時のパンフレット類や法案の議事録等については、イギリスの British Library にて必要な資料収集を行った。

さらに、当時のイギリス経済に関する Cobbett の反政府的な主張や思想の検証を行った。当初の予定では、資料収集の範囲を上記の研究目的の項目で挙げた当時の政治家、ジャーナリスト、政治活動家などまで広げ、同時代の様々な言説の整理を行うことにしていたが、思うように時間がとれず、これについては、次年度に持ち越しとなった。

上記の資料収集及び整理と並行して、昨年度から、P. B. Shelley などに代表される関連する 19 世紀初頭のイギリス・ロマン派の作品の精読を継続しており、平成 19 年度末にその研究成果を論文としてまとめ、査読付の専門誌に投稿することが出来た。しかしながら、その掲載は認められたものの、発行日の関係から平成 19 年度内の発表にまでは至らなかった。

上記の論文の題目は、「想像力とロマン主義：シェリーの詩論に関する一考察」であり、本研究課題のテーマとなっている「ロマン主義と想像力」という観点から、Cobbett と同じく 18 世紀末から 19 世紀初頭に活躍した詩人である Shelley の著作のなかでも、特に彼の散文 *A Defence of Poetry* 及び *A Philosophical View of Reform* に注目し、当時のイギリス社会において受容されつつあった功利主義との比較において、彼が考える想像力の社会的意義及びその思想の変遷について考察した。

平成 20 年度は、一昨年度及び昨年度に引き続き、イギリスのジャーナリストである William Cobbett 関連の資料収集を行った。特に、新紙幣制度や金本位制度に関する資料の

中でも、日本では入手不可能な当時のパンフレット類や法案の議事録等については、イギリスの British Library に於いて必要な資料収集を行った。

また、これまでの研究で得られた紙幣制度、ロマン主義そして想像力に関する成果をもとに、19 世紀初頭のロマン派詩人の作品に焦点をあて、その受容について研究を行うことにした。中でも、P. B. Shelley の有名な詩論である *A Defence of Poetry* 『詩の擁護』、及び普通選挙の必要性を説いた散文である *A Philosophical View of Reform* 『議会改革の哲学観』という 2 つの散文に特に注目し、「想像力とロマン主義—シェリーの詩論に関する一考察—」と題した論文を発表した。シェリーは、コベットと同じく金本位制度を支持し、紙幣制度そのものを批判していた人物であった。しかしながら、彼の主張する真の功利主義という概念については、実際には想像力への依拠という点に於いて、そのテーマと多くの共通点が見られることが分かった。

それに加えて、『「ピータールー虐殺」と『無秩序の仮面』—シェリーの詩論と対立の構図—』と題した論文の執筆を終えた。ここでは、継続して研究対象としているシェリーの想像力に焦点を当て、シェリーの *The Mask of Anarchy* 『無秩序の仮面』に見られる対立の構図を解き明かす試みを行った。本論文は、共著として平成 21 年 8 月に発行予定である。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

- ① 江口 誠、想像力とロマン主義：シェリーの詩論に関する一考察、『英詩評論』、第 24 号、pp.47-54、2008、査読有

〔図書〕(計 1 件)

- ① 江口 誠、「ピータールー虐殺」と『無秩序の仮面』—シェリーの詩論と対立の構図—、『植木先生ご退職記念論文集』、2009、査読有

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

江口 誠 (EGUCHI MAKOTO)

呉工業高等専門学校・一般科目・准教授

研究者番号：50332060

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

なし